

## 校名選定（2回目）

## 1. 校名選考（2回目）の実施方法について（以下、事務局案）

## (1) 2回目の絞込みで目指すもの

1回目選考結果（28件）を、5件程度に絞込む。

<別紙「参考資料1」参照>

## (2) 2回目絞込みの具体的な流れ

① 各委員が1回目選考結果（28件）を、「校名候補選定の視点」に沿って3段階で点数づけする。

《選定したい…2点 選定してもよい…1点 選定したくない…0点》

<別紙「協議資料」参照>

② 全委員の合計点数を参考として、協議により5件程度に絞込む。

- ・事務局で選考結果を集計し、集計結果一覧を各委員に配布。
- ・得点を参考として、校名候補としてふさわしいものであるか否かを協議し、選考する。
- ・選考する課程で、校種の表記（学園、小中学校、義務教育学校 など）や、書き方（漢字・ひらがな・カタカナ）についても協議する。

③ 校名候補ごとに、絞込んだ理由や所感を取りまとめる。

**【校名候補選定の観点】**

- ・学校統合の趣旨、新設校に対する夢や期待等を表すもの
- ・桜島がはいる、もしくは桜島をイメージさせるもの
- ・読みやすい、言いやすい、親しみやすいもの

※「社会福祉法人愛光会 桜島学園」があることを考慮し選定する。

## (3) 2回目選考結果の取り扱い

今回の校名は、一般的な「地名＋小学校」「地名＋中学校」ではないため、意図せず他者の商品やサービスの商標権を侵害するものとなる可能性があります。

2回目選考結果については、最終選考前に商標権侵害に係る調査を行う予定です。

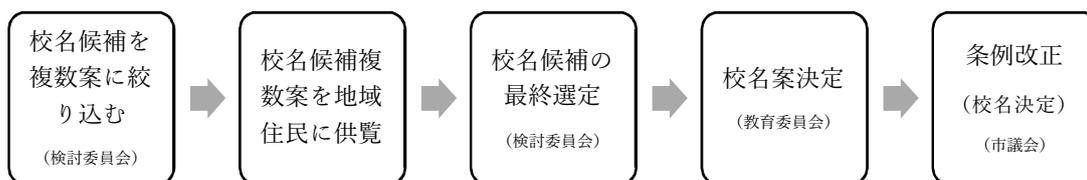
## 2. 地域住民への供覧について

地域住民への経過報告として、2回目の絞り込み結果を地域住民に供覧することとしていることから、具体的な供覧方法について協議します。

〈参考：募集要項抜粋〉

### 7. 選定方法

ご応募いただいた校名及びその理由等を参考として、「桜島地域における義務教育学校整備検討委員会」で校名候補を選定し、その後、教育委員会の決定及び市議会の議決を経て正式に校名が決定します。



選定の観点に沿って選定することとし、同一の校名候補に対する応募数の「多い」「少ない」は選定及び決定に影響するものではありません。

#### 【校名候補選定の観点】

学校統合の趣旨、新設校に対する夢や期待等を表すもの  
桜島がはいる、もしくは桜島をイメージさせるもの  
読みやすい、言いやすい、親しみやすいもの

### (1) 地域への供覧の目的

[目的1] 整備検討委員会で、校名を最終選考する際に、地域住民の意向を参考とするため。

[目的2] 地域住民もの、校名作成に関わったという認識を持ってもらうため。

### (2) 地域へ供覧する際の課題

幅広世代の地域住民に広く情報を伝え、多数の回答を得うる調査は実施困難。

WEB調査 … [メリット] 経費をかけず調査可能

調査期間内であれば、いつでも回答可能

[デメリット] 高齢者の多くは対応困難と見込まれる

桜島地域以外からの回答を制限する設定が必要

WEB調査以外… 調査票

意見交換会

ヒアリング調査

} 周知方法、実施方法は要検討

【参考】過去の地域住民への意向調査の実施状況

■校名募集に係るアンケート調査状況

[調査方法]

- ・意見交換会（R4.8.5開催）での参加者アンケートを、地域住民向けにも実施。  
QRコード記載の調査票を、小中学校・保育園等を経由して児童生徒や保護者に配布。
- ・町内会回覧板にて地域住民に回覧。

[調査結果]

応募状況 69件

WEB : 52件（意見交換会日に回答 6件、意見交換会日以降に回答46件）  
応募用紙 : 17件（郵送8件、FAX8件、意見交換会会場1件）

■校名募集の応募状況

[調査方法]

- ・QRコード記載のチラシ兼応募用紙を、小中学校・保育園等を経由して児童生徒や保護者に配布。町内会回覧板にて地域住民に回覧。
- ・市民のひろば（R5.1月号）と同時に桜島全戸に配布。

[調査結果]

桜島地域からの応募状況 72件（応募総数は372件）

WEB : 24件

応募用紙 : 48件

※公募箱42件（小中学校26件、桜島支所4件、東桜島支所7件、  
桜島公民館5件）、郵送2件、FAX4件

(3) 地域への供覧方法の検討

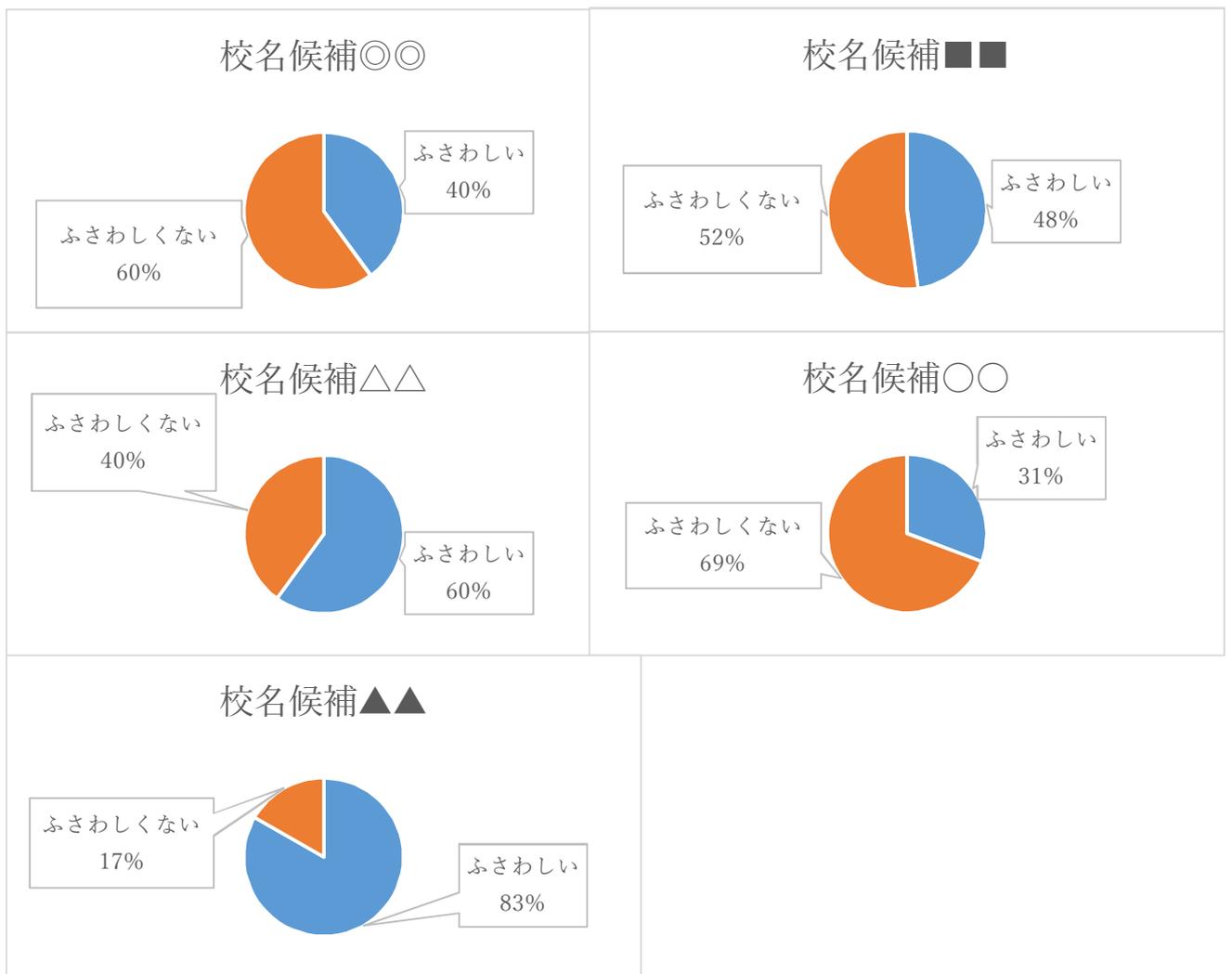
1案：校名候補に対する共感度や感想を聞く（順位付けや、点数化しない）

※事務局案

5つの校名候補への意見や感想を回答してもらう。また、5つの校名候補が、それぞれ「校名にふさわしい」か、否かを回答してもらう。

→ 「校名候補〇〇は、回答者の何%が校名にふさわしいと考える」といった、校名候補に対する共感の程度を探り、参考意見として取扱う。

[調査結果のイメージ図]



【意見・感想】

校名候補◎◎ → . . . . .  
 校名候補△△ → . . . . .  
 校名候補▲▲ → . . . . .

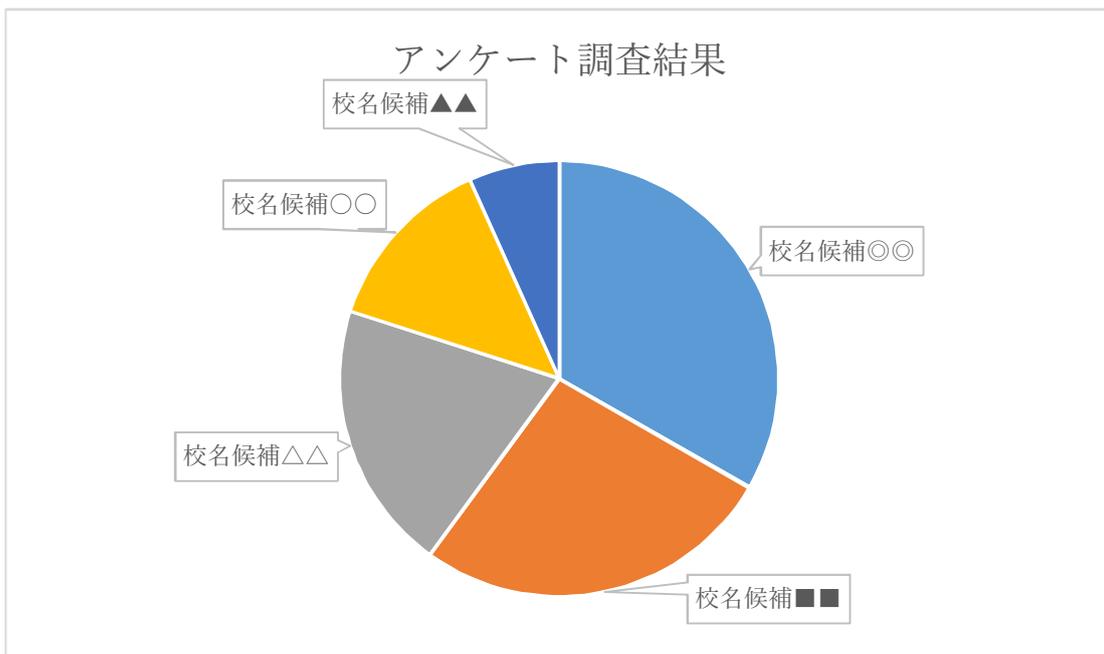
校名候補■■■ → . . . . .  
 校名候補○○ → . . . . .

**2案：校名を選んでもらう（順位づけをする）**

5つの校名候補から、「校名にふさわしいと考えるもの」を1つを選んでもらう。  
→ 住民意向の順位（優劣）が明確になり、最終選考に大きく影響を与える。

- [課題]
- ・ 1位以外を最終選考で選択した場合、対外的な説明が困難になる。
  - ・ 参加人数が少ない調査による順位付けを、最終選考で最重視することは、リスクが高い。（幅広世代の地域住民から、多数の回答を得うる調査は実施困難）
  - ・ 順位を優先し、協議によらない最終選考となり、「なぜその校名を最終選考したのか」という理由づけが困難になる。

[調査結果のイメージ図]



■調査の概要

調査対象：①児童生徒（全員）と学校関係者

②一般の地域住民

調査方法：①QRコードつき調査票を、各学校経由で対象者に送付。

②調査票を桜島支所・東桜島支所・桜島公民館に設置。

町内会回覧にて、調査実施を周知。

回収方法：①WEB回答又は紙回答。（紙は各校で回収し、学校整備室へ送付）

②回収箱を桜島支所・東桜島支所・桜島公民館に設置し投函してもらう。

郵送、ファックスでの回答も可とする。

※WEB回答は、児童生徒、教職員のみ回答可能と設定は可能。

※調査方法、回収方法の詳細は要検討。

※調査票には、校名候補を整備検討委員会で選考した理由や所管を記載。

■設問案

1案：校名候補に対する共感度や感想を聞く

5つの「校名候補」に対する感想や意見がありましたら、ご記入ください。

5つの「校名の候補」で、校名にふさわしいと考えるものには、「選択欄」にいくつでも「○印」をつけてください。ふさわしいと考えるものがない場合は、「○印」をつけなくていいです。

校名候補	感想・意見	選択欄
◎◎		
■ ■		
△△		
◇◇		
▲▲		

2案：校名を選んでもらう

5つの「校名の候補」でふさわしいと考えるものに「○印」をつけて、選んだ理由を書いてください。

校名候補	選択欄
◎◎	
■ ■	
△△	
◇◇	
▲▲	

（選んだ理由）